

# 中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya\_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www4.tokai.or.jp/Junya\_susono/

## 議長以外の議会人事が変更となりました。

9月の「議長不信任決議」に続き、12月議会では「議長への辞職勧告決議」が提出され賛成多数で可決されましたが、直後「私は議長をやめるつもりはないことを表明いたします」とご本人が話され、議長はそのままですが、副議長を始めとする他の議会人事は、この議会でメンバーを刷新する事となりました。私もこれまでの厚生文教委員会から「総務委員会」となりその中で副委員長の職務を、また他に「議会だより編集委員会委員」「裾野市長泉町衛生施設組合議員」を拝命する事となりました。更に勉強を重ね、知識の幅を広げ質を高めて参りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

## 12月定例会の内容をご紹介します

### ■一般会計補正予算（第5回）

国の二次補正関連補助事業、県による木造住宅耐震補強に対する期間限定の上乗せ補助、福祉事業の利用者増に伴う調整等によるものが上程されました。国の二次補正には工事の進捗を早めるものの他、低所得の年金暮らしの方に対する臨時福祉給付金も含まれています。補正額は7億1千5百万円。基本的に歳入歳出共に増額です。市の貯金である財政調整基金への8千万円の返金は評価できると思います。貯金崩しの癖が付きすぎです。

#### 【主なもの】

- 葛山地区の金山橋、大久保橋の長寿命化対策に21百万円。50年の延命だそうです。
- H29年1月～H30年3月に木造住宅耐震補強をした場合、県市併せて30万円を上乗せ補助！期間限定です、ご検討ください！
- 放課後等デイサービスめだか返却の為の復旧工事。補助事業から給付事業へと格上げ(!?)となり、別に拠点をもち活動継続となります。

### ■議会人事（敬称略）

※同会派メンバー

議長	二見榮一（不信任可決・・・）	
副議長	土屋秀明	
議会運営委員会	委員長	芹澤 邦敏※
	副委員長	三富美代子
総務委員会	委員長	賀茂 博美
	副委員長	中村 純也※
厚生文教委員会	委員長	小田 圭介
	副委員長	杉山 茂規※
産業建設委員会	委員長	勝又 明 ※
	副委員長	井出 悟 ※
議会だより編集委員会	委員長	杉山 茂規※
	副委員長	岩井 良枝
議会改革特別委員会	委員長	井出 悟 ※
	副委員長	内藤 法子

官製談合再発防止特別委員会は、議会運営委員会が兼務し、市の対応をチェックします。談合に関わった業者は事実を認め書類送検され、逮捕された職員は仮釈放されました。談合防止も含め全体の管理統制を年度内に構築する予定で市は対応中との事です。（現状報告まで）

### ■変化点の報告

- 職員の働き方が変わります。

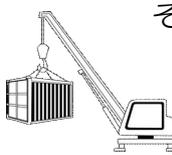


職員のワークライフバランスの実現と長時間勤務の是正、時間外勤務の縮減のため、全庁に時差出勤を試行実施することになりました。開庁時間は現状通りです。

保育園や介護などの対応をしやすい、夜の会議に合わせて遅く出勤したりする事が可能になります。残業減るかな？休憩時間も別になるので間違えて声を掛けられぬ様配慮も忘れずに。

- 保育園対応？保育対応には雇用主の理解が必要で公立保育園は時間を変更しないというメッセージ？まあ、試行ですから様子を見ましょう。

- 美化センター業務の一部を外部委託  
裾野市美化センター施設更新基本構想のとおり、現在のセンターは平成36年度末で稼働を停止させる予定で、翌年からは新施設による稼働が予定されています。今働いている方は比較的ベテランの方が多く、定年退職を迎える方もいらっしゃいます。



そこで職員数の変動に合わせて、稼働停止停止までの間、部分的に外部に業務委託しながら事業を進める事となりました。平成29年度は焼却クレーンの委託。平成30年度以降は焼却工程の夜勤業務の委託。業務の運営効率と労働の安全性を高める事も目的となっています。収集への影響はありません。

## 地域活動へのご協力 ありがとうございました。

議員になる前から拝命しておりました民生委員・児童委員を、一斉改選の11月末で退任致しました。無事3期9年職務を全うできましたのも皆さまのご理解あってのことと感謝申し上げます。個別支援におきましては至らぬ点が多々あったかと思いますがどうぞご容赦くださいます様お願い申し上げます。折角得た知識を、個人または議員として地域活動に活かして参りますので、宜しくお願い致します。

■一般質問 (税金は正しく使おう！ 収収を上げるにはそれなりの努力を！)

「裾野市の財政は厳しく、、、」という答弁を良く聞きます。調べると確かに上向き要素はない状態でしょう。相変わらず大手企業の法人市民税頼みであり、その割には手広く実施している事業を取捨選択することはない。歳入が減っている為、市の緊急的意味合いの貯蓄である財政調整基金の切り崩しは、ほぼ常態化。人も増えず、企業も投資を控えては収入は見込めず、今こそ身の丈に合わない事業や効果の薄い事業はきちんと整理すべきで、また面倒から先送りにしてきた課題にもしっかり着手して、無駄な歳出を抑える努力をしなくてはならないでしょう。今回の一般質問では、①「効果の薄い事業は早めに手を引く」②「面倒でも課題は放っておかない」③「がんばって欲しい分野は真剣に支援する」これらを具体的事例を挙げて問いました。

①子どもが3人以上いる多子世帯の支援として国が進める市民税非課税世帯の第2子半額、第3子以降無料に、裾野市は所得制限解除等緩和策を追加しているが、裾野市には適合していないのではないかと？



裾野市の少子化は小学校を子に持つ家庭の流出が際立っています。所得に関係なく保育料軽減を行った世帯が、すぐ他市に流出してしまう傾向です。定住化促進策と言いつつ外れであるのでは？という視点。

Q.以下の理由から、この制度を早く見直すべきではないか？

- ・保育所に待機者がいるのに、無料で預けられる世帯があるのは、公平性に欠ける。
- ・給食費など受益者負担が原則と言いつつ保育だけ無料というのは筋が通らない。
- ・裾野の小中学校にぜひ通いたいと思える施策こそ、人口流出抑止に必要な対策。
- ・軽減策ではなく、保育の受け皿を増やす事に税金を投じた方が、就労希望世帯の親の平等な助けとなるのではないかと。

A. 近隣市町と連携した施策ではあるが、実施3年で事業を見直したい。

②1億7千万円の借地料を減らそう！

文化センターや生涯学習センター、消防庁舎や給食センターなど公共施設が借地に建っているものが多い。市税の使い道として良いのか？

Q.公共施設は30年で大規模改修、60年で更新という基本的な考えに基づき整理するとしている。途中で返却を求められるようリスクのある借地ではなく、公共施設の土地は市有地であるべき。また近隣地域で料金が異なる場所もある。借地の料金や量を見直すべきではないかと？

A. 契約もあり期間を要すると思われるが、施設の見直しと共に借地の解消に向け進めたい。

③がんばる中小企業を応援する「地域産業振興条例(仮称)」を制定しよう。



地元の中小企業をみんなで応援することで、地域での雇用を生み、町をにぎやかにし活性化させていくことが必要だという視点。

Q.大企業に依存した待ちの姿勢を正し、2つの駅前の活性化を含め、町の賑わいをみんなで作り上げるため、その思いを条例化しませんか？

A. 現在進行中の裾野市産業基本計画策定委員会で協議頂き、計画に盛り込みたい。(条例化への動きには直結せず、、、)

各種活動のご紹介



2市1町議員合同研修にて議会改革を受講。

裾野市の原水を龍ヶ崎市に送りパッケージのコラボレーション(ついでに配水場内を見学)



市内初の味覚の授業にスタッフとして参加。富二小児童さんは5感全てを使って「味」を語りあっていました。

2017年も全力でがんばります！



矢崎バレンテの裾野市でのホームゲームの際、富岡JFCキッズにエスコートして頂きました。喜んでもらえたかな？試合にはもちろん勝ちました！

鳥取県智頭町の森のようちえんを会派で視察。園舎を持たず、毎日山や川などに行き保育を営みます



連合北駿地区の企業訪問。TMEJさんのセンチュリー工程を拝見しました。選ばれた者のみが担当できる職場。車毎に作られたカルテには、担当者の写真も記録。ものづくり日本ここにあり！